

雑誌の広告について

家庭科班(文)：上野山 那南 下野 衣月
中村 理莉子 高村 恵理

1. はじめに

今日、さまざまな雑誌が発行されている。雑誌を見ていて広告が目につき、雑誌によって広告の数、種類などに違いや共通点はあるか、について研究し分析した。

2. 研究方法

(1) 2つの仮説

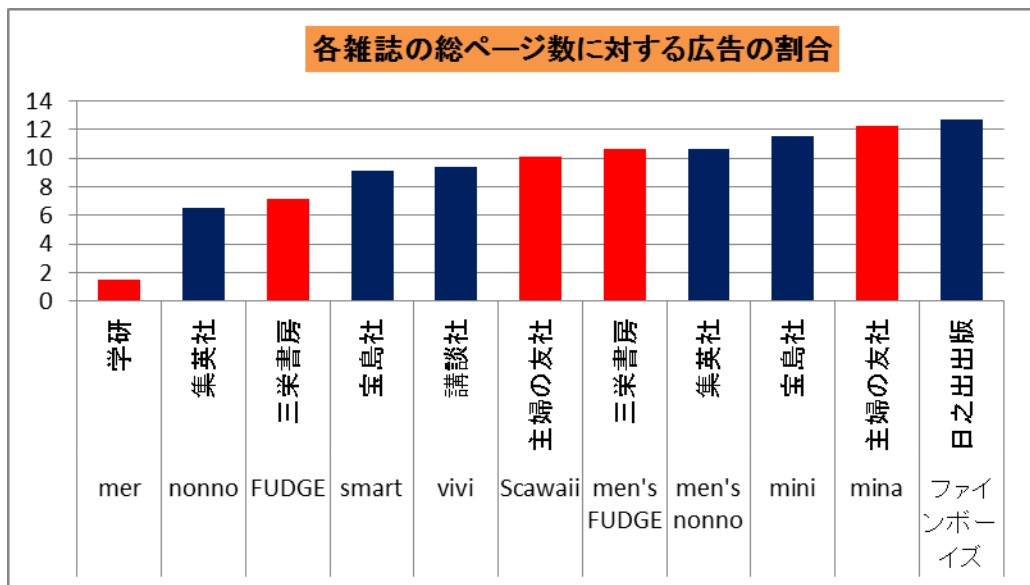
- ①付録の有無によって広告の量が違うのではないか。
- ②発行部数によって広告の量が違うのではないか。

(2) 調査

10～20代向けの雑誌を中心にあらゆるジャンルのものを選び、広告の数と内容を調べた。

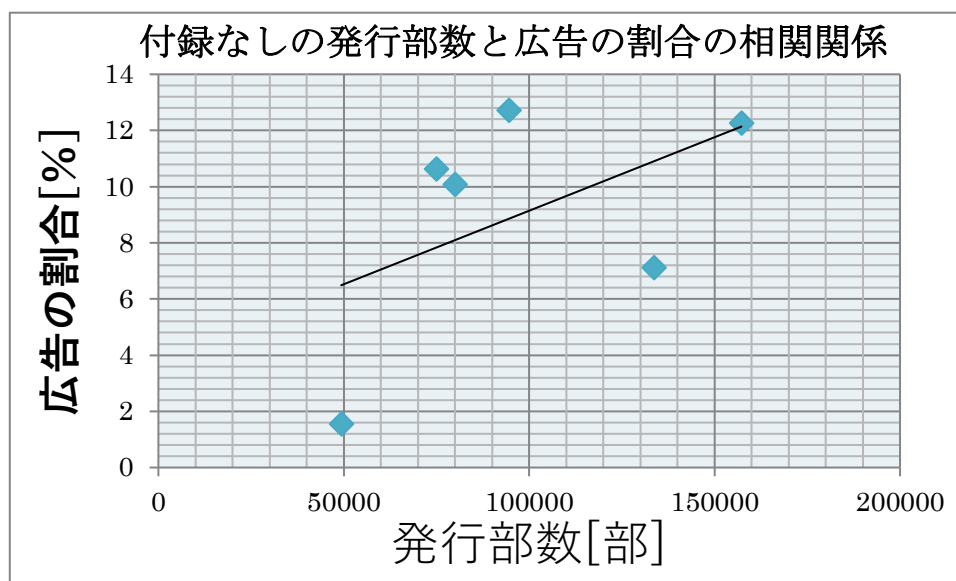
3. 結果・考察

(1) ①下のグラフは赤のグラフが付録なしで青のグラフが付録ありを示している。このグラフから付録の有無と広告の量は関係ないことがわかる。

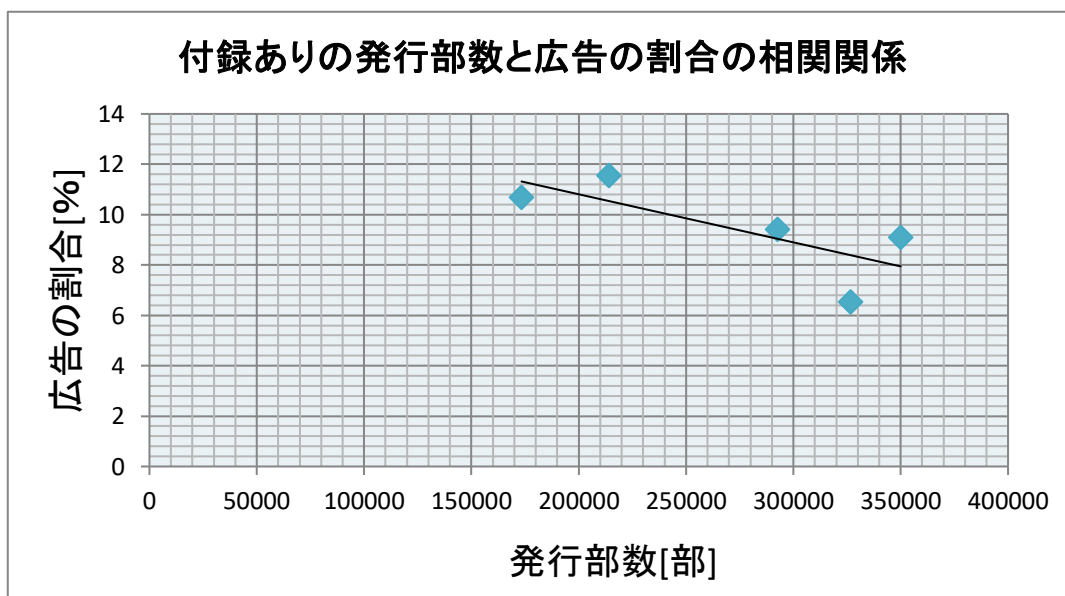


縦軸は広告の割合(%)、横軸は雑誌名と出版社名を表す。

②1) 付録なしの場合、下のグラフより、正の相関関係があるので、発行部数が多い程雑誌の全ページ数に対する広告のページ数の割合が高いことがわかる。



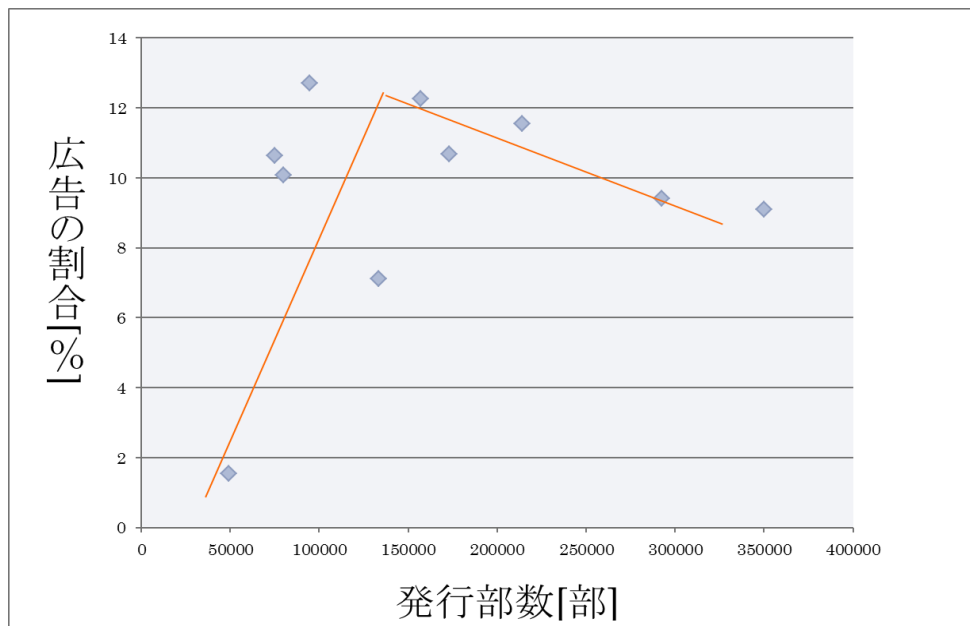
2) 付録ありの場合、下のグラフより、負の相関関係があるので、発行部数が多い程雑誌の全ページ数に対する広告のページ数の割合が低いことがわかる。



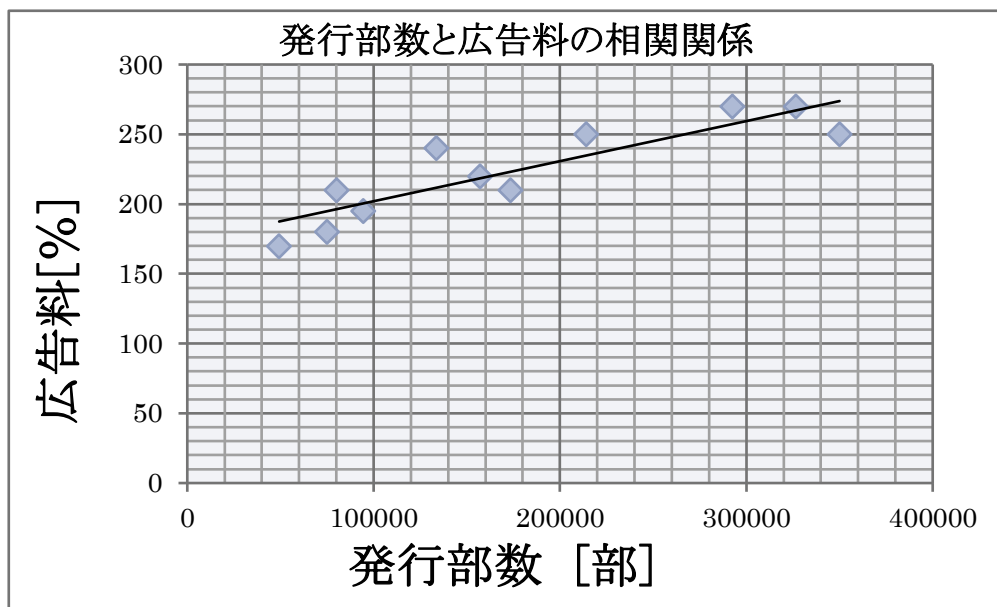
3) 全体のグラフを見ると、発行部数の平均が少ない付録なしの雑誌が左側にあり、発行部数の平均が多い付録ありの雑誌が右側にあるため、付録なしと付録ありで結

果が異なるとわかる。

雑誌全体の発行部数と広告の割合の相関関係



4) 下のグラフより発行部数と広告料には正の相関がある



4. 結論

人の目に付かなすぎず、広告料の高すぎない、中間あたりの雑誌の広告が多いことがわかった。このことから、広告の量は発行部数に関係するといえる。